

知道 CHIDO-KAIHO 会報

72

編集 知道会広報委員会
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人 西野虎之介
発行日 平成20年4月25日
通巻 第72号
メール chidou@world.odn.ne.jp

目次	特集	130周年記念プレ・イベント	2
	インタビュー	一高生活を支える人たち	4
	同窓会・支部だより	硬式野球部後援会発足	6
	一高だより	入試結果と進路状況 ほか	7

第9回会員の集い 盛大に

平成19年11月10日(土)に京成ホテルにて開催された平成19年度(第57期)代議員会議及び第9回会員の集いの報告を致します。

代議員数237名のうち、出席者88名・委任状62名で代議員会議は成立しました。議事はまず、第56期事業報告・決算報告及び監査報告が行われ、満場一致で可決されました。続いて、第57期事業計画(案)と予算書(案)の説明が行われ、こちらも満場一致で可決承認されました。

続く「会員の集い」では、講師に昭和51年卒業の佐々木健氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)をむかえ特別講演会が行われ(演題は「最近の大学教育について思うこと」)、その後に懇親会が開催されました。

水戸ホーリーホック選手及び「Mito Holly's」(チアリーディングチーム)によるアトラクションもあり、会場は歓声に包まれ、懇親会は盛り上がりを見せました。

さて、創立130周年を記念して、記念式典と祝賀会が今年の11月22日(土)(創立記念日です)に開催されます。水戸一高のいままでの伝統の重みをかみしめ、これから後輩達に何を伝えていくのか、考える時でもあります。

「自分達を育て、作り上げてくれた水中・水戸一高 ありがとう」…感謝を込めて是非記念式典、祝賀会にご参加下さい。

知道会会計の 一本化について

従前の知道会の会計は、年会費で運営する「一般会計」、特別会計として在校生の卒業時に徴収する「知道会入会金会計」、既卒業生からの寄附によって運営する「在校生士気高揚資金会計」の3つの会計からなっていました。第56期(平成18年10月1日～平成19年9月30日)の決算期からは、複雑化した3会計を一般会計に一本化し、わかりや

会計報告

収支計算書

第56期(H.18.10.1～H.19.9.30)

第57期(H.19.10.1～H.20.9.30)

科 目	56期決算額	57期予算額
収入合計	(50,391,361)	(26,905,447)
年会費	10,206,000	11,000,000
卒業生入会金	1,620,000	1,600,000
寄附金収入	784,100	0
会員の集い会費	970,000	1,250,000
受取利息	22,182	30,000
特別積立金取崩	0	0
雑収入	13,384,920	50,000
前期繰越金	23,404,159	12,975,447
支出合計	(50,391,361)	(26,905,447)
運営費	(8,865,028)	(12,238,000)
会員の集い費	1,543,243	2,188,000
会議費	153,108	200,000
事務局運営費	2,181,687	2,200,000
通信費	2,891,679	3,000,000
消耗品費	99,944	100,000
旅費交通費	163,470	150,000
渉外費	106,721	100,000
支部強化費	612,984	500,000
振替手数料	477,510	500,000
印刷費	210,829	2,850,000
リース料	423,853	450,000
事業費	(3,075,075)	(660,000)
総務委員会費	63,426	80,000
財務委員会費	20,000	20,000
広報委員会費	2,724,922	250,000
名簿委員会費	12,010	10,000
親睦委員会費	254,717	300,000
母校助成費	(897,720)	(900,000)
卒業記念品費	443,560	450,000
大会補助金	194,160	200,000
卒業生褒章	260,000	250,000
特別積立金繰入	(24,578,091)	(12,862,964)
予備費	(0)	(244,483)
次期繰越金	(12,975,447)	(0)

すい会計にすると共に、期末での財産を明確にするための貸借対照表も作成することとし、平成19年11月10日の代議員会議で決定されました。

収支計算書の主な収入科目は、旧一般会計の会費収入、旧卒業生入会金会計の卒業生入会金収入、旧在校生士気高揚資金会計の寄附金収入で、支出科目では、会を運営する「運営費」、各委員会の活動費として「事業費」、在校生に対する援助としての「母校助成費」としました。

その他、今後はある目的を持って支出する場合及び年度事業計画における会費収入が計画より下回ると見込まれ、事業計画遂行上支障を来す恐れがある場合又は来たした場合に備えるものとして、収入科目には「特別積立金取崩」、支出科目には「特別積立金繰入」の新勘定を設けました。そして貸借対照表に特別積立金残高を明記することとしました。

なお、特別積立金を取崩す場合は、代議員会議の議決を要するものとします。

(財務委員長 小野邦夫)

貸借対照表

(H.19.9.30 現在)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	(37,553,538)
現金	0
普通預金	12,965,947
郵便振替	9,500
特定積立金(入会金)	23,008,204
特定積立金(士気高揚)	1,569,887
2. 固定資産	(0)
資 産 合 計	(37,553,538)
II 負債の部	
未払金	0
未経過会費	0
負 債 合 計	(0)
III 正味財産の部	
特別積立金	24,578,091
次期繰越金	12,975,447
正 味 財 産 合 計	(37,553,538)
負債及び正味財産合計	(37,553,538)

創立130周年を記念して様々な催しが計画・進行中

今年、母校創立130周年を記念して、式典を始め様々な行事が計画されている。

今号ではその中から、硬式野球部の記念試合と親睦委員会による各催しなどを紹介する。

名門復活へ 水戸一高硬式野球部 130周年記念招待試合

6月29日(日) 水戸市民球場

本校が創立130周年を迎えるのを記念して、硬式野球部が6月29日に水戸市民球場で早稲田実業高校（東京）と慶応高校（神奈川県）の野球部を招いて記念試合を行うことになった。

本校硬式野球部は1891年（明治24年）の創部以来、旧制水戸



熱戦が期待される

中学時代を含めて3度甲子園に出場しているが、1954年（昭和29年）を最後に甲子園の土を踏んでいない。しかし、昨年は春に県大会に出場し、夏の大会ではベスト16に進出。接戦を勝ち抜く粘り強さと明るさ、元気溢れる全力疾走での戦いぶりは大会を通して大きな話題となり、秋の県大会では32年ぶりのベスト8に進出し、第80回選抜高校野球大会の茨城県県の21世紀枠候補校に選出された。

記念試合は、名門復活を願い硬式野球部OB会「水府倶楽部」が中心に企画したもので、対戦相手

の早実高は春夏45回、慶応高は春夏23回の甲子園出場を誇る。ともに文武両道を貫く名門校で、早実高は一昨年の全国選手権で優勝し、慶応高は今春のセンバツに出場している。

名門復活、全国に通用するチームを目指して練習に励む本校野球部が、夏の大会を前に文字通り全国の強豪に挑むことになる。試合は8時40分より水戸一高一早実高、早実高ー慶応高、水戸一高一慶応高の順で行われる予定である。

野球部部長：郡司忠（昭54卒）

記念モニュメントのブロンズ像が一足先にお目見え

塊土社彫刻展

日本芸術院会員の能島征二氏により制作が進められている記念モニュメントは、今年の夏にも本校玄関前に設置される予定だが、その縮小版ともいえる作品が水戸市内のギャラリーに展示された。

展示会は、能島氏が会長を務める団体「塊土社（かいどしゃ）」の具象彫刻展で、3月4日(火)から3月9日(日)まで、水戸市五軒町のアートワークスギャラリーにおいて開催された。「わが道をゆく」と題した作品は、歩く会



「わが道をゆく」(右)

をモチーフとした男女の生徒像で、二人の眼差しからは、苦労と喜び、未来への希望が清々しく伝わってくる。あらためて本校敷地内での除幕が待たれる。

☆「ブロンズ像小品」の限定販売を実施します！

130周年記念事業の一環として母校へ寄贈し、正面玄関前のロータリー内に設置予定の歩く会の「ブロンズ像（男女像）」（わが道をゆく）の制作は、能島先生によって順調に進んでいます。

この記念ブロンズ像の「小品」の制作も平行して進められています。この「小品」は本体の約1/3寸法で約15体の完成を予定しておりますが、今回、この「小品」を水中・水戸一高卒業生に限

ご参加ください

130周年記念親睦行事へのお誘い

名門倶楽部で爽快にプレー 第29回知道会ゴルフ大会

知道会主催のゴルフ大会は、会員の皆様のご参加に支えられ29回目を迎えることとなりました。母校の130周年を記念し、今年の大会には特に多くの賞品を用意しており、また、楽しい表彰式・懇親会も行う予定です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

期日 平成20年6月12日(木)
会場 大洗ゴルフ倶楽部
競技方法 18ホールストローク
プレイ 新ペリア方式
参加費用 4,500円(当日受付の際に納入。プレー費各自支払い。65歳以上の方には利用税軽減制度がありますので年齢を証明できるものをご持参ください)

ご注意

今回より往復はがきでのご通知をいたしておりません。大会通知は、往信のみ過去5年間にご参加なされた方に限り発送させていただきます。ご了承ください。

申込先 知道会事務局
(ファクス, Eメール, 電話でどうぞ)
締切 5月23日(金)

ご一緒に歩きませんか 第5回OBミニ歩く会

常陸太田知道会の全面的なご支援のもと、今回は歴史探訪の道、

常陸太田を設定しました。徳川齊昭公選定水戸八景「山寺の晩鐘」、黄門様ゆかりの地「西山荘」、市街地にある歴史的建造物を巡ります。

茨城県ウォーキング協会副会長・川上清氏(S29卒)のご指導でさわやかな秋の1日をお楽しみください。

期日 9月28日(日)
集合 同日9時に山吹運動公園へ(駐車場あり)、9時20分から準備運動、9時30分歩行開始となります。
行程 約6.5キロ
所要時間 約3時間
参加費用 大人1,000円
小学生以下無料
食事 簡単なお弁当あり(公園帰着時に配付)
申込先 知道会事務局
申込締切 9月17日(水)

日本の歴史と文化を訪ねる旅 第15回知道会親睦旅行 おわら風の盆見学と金沢散策

知道会親睦旅行の本年度テーマは、哀調と雅の「おわら風の盆」を見学し百万石の城下町「金沢」の散策を楽しもうというもの。おわら風の盆は11の町内がそれぞれの町の踊りを唄い踊り流します。城下町の金沢は、貸切バスで武家屋敷、ひがし茶屋街、兼六園をめぐるります。自由行動をご希望

ごあいさつ

知道会親睦委員長 木村 利

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、平成20年度の親睦委員会が運営する行事「ゴルフ大会」・「OB歩く会」・「親睦旅行」をご案内申し上げます。水中・水戸一高OBの皆様方の世代を超えた交流の場として、また、ご家族でOBでない方々でもご参加大歓迎でございます。ぜひ多数のご参加をお待ち申し上げております。

の方は、金沢ふらっとバスにて散策も可能です。

全行程、大型貸切バス(サロン型・トイレ付)をチャーター。いつものとおり、知道会諸会員のご協力、車内及び宴会飲み物を含んだの料金となっています。

期日 9月2日(火)～3日(水)
1泊2日

交通機関 全行程大型観光バス
宿泊 金沢市内 APAホテル金沢中央

参加費 大人1人 28,500円
募集人員 30名
申込先 知道会事務局

130周年記念親睦行事への参加 お申し込み・お問い合わせは

知道会事務局
TEL: 029-226-3960 (月・水・金)
FAX: 029-226-4157
E-mail: chidou@world.odn.ne.jp

り販売します。

価格は公表出来ませんので、個別に知道会事務局へ電話で問合せ下さい。

5月7日から申し込みを受付、先着順に15体で販売完とします。

知道会事務局
北條宛: 電話
029-226-3960
(月・水・金)



「わが道をゆく」
(小品)

130周年記念事業 「募金状況」とお願い

記念事業に対する募金のお願いを昨年6月から開始しました。その結果、これまでに個人会員2,516名から、20,502,000円の寄付を頂きました。この他、個人企業経営者、卒業生が所属する銀行などからの寄付を合算しますと3月中旬時点で目標30,000,000円に対し約86%までに達しました。ご協力をご感謝申し上げますと共に、各学年、地域知道会などの会員間でまだ、寄付をされておられない方々に声を掛けていただき、達成率を100%以上に致したくご協力をお願いいたします。寄付の中には、既に世を去った会員のご家族の方々や、お孫さんが現在水戸一高に学ぶと言うご家族様から大口

のご寄付も頂いています。勿論、現任教職員は、知道会会員と同様にお1人数口のご寄付を頂いております。募金は、9月末まで続けておりますのでよろしく願いいたします。「卒業学年」として、または「地域・支部知道会」として個人に加えた寄付も届いてます(下表)。

(募金委員会 委員長 田中 功)

昭和20年卒	一同	¥100,000
昭和21・22年卒	一同	¥220,000
昭和23・24年卒	一同	¥234,000
昭和29年卒業	一同	¥50,000
昭和34年卒業	一同	¥340,000
昭和44年卒業	有志	¥20,000
昭和45年卒業	一同	¥200,000
現職員	一同	¥845,000
水戸知道会		¥200,000
常陽知道会		¥1,000,000

水戸一高購買部

森田 よね子さん (写真左)
五十嵐 貴美代さん (写真右)



温かい笑顔で迎えてくれる

購買部今昔

—お二人がいつから勤務されたのが教えてください。

森田：私がこの購買部で働き始めたのは昭和49年です。もともとは外部の業者さんが入っていたのですが、当時何かの事情があって学校が直接運営するようになりまして、以来ずっと勤務しています。

五十嵐：私は森田さんのすぐ後に入りました。ですから2人とも大体同じですね。

—当時と今の学校の様子を比較していただけますか。

五十嵐：今は半分ぐらい女の子ですが、昭和49年当時はほとんどが男の子でした。服装の自由化(S.46～)も始まっていましたが、皆制服を着ていましたね。

森田：学生運動の影響も残っていたようですが、基本的にはとても真面目だった印象があります。

五十嵐：その後、女の子が増えるのに従って、学校の雰囲気もなごやかに変わっていった気がします。

森田：今では応援団長も女の子ですが、以前では考えられなかったことですね。

—校舎も大分変わってしまいました。

五十嵐：始まってしばらくは旧一号館と二号館の間にあったプレハ



ブで営業していました。その後、現在の学習室の辺りにあった飲食スペース付きの建物に移動したのですが、現一号館の建設にあたり今の場所に移りました。現在の場所は、旧二号館の社会科職員室あたりでしょうか。

森田：やはり飲食スペースがあった時の方が、生徒さんとのコミュニケーションが図れましたね。今は窓口で販売するだけなので。

—いわゆる「常連さん」もいるのでしょうか。

森田：いますね。お昼ごはんを買いに来るだけではなくて、中に入って話をしたりすることもあります。

—以前の購買部は保健室の隣にありまして、保健担当の先生が不在だったりすると、代わりに購買部で休んでいる子もいましたね。

五十嵐：買い物ではなくて相談に来る生徒さんもいます。なかなか成績が上がらないとか、教室に行きづらくなってしまったとか。やはり多感な時期ですから、ちょっとしたつまずきでうまくいなくなってしまおうのでしょうか。そんな時に、ここにきて少し話をすることで大分楽になるみたいです。

森田：その意味では、以前あった飲食スペースの意義は大きかったと思います。勉強やスポーツに一生懸命打ち込む中で、生徒さん達が息の抜ける場所は必要だと思います。

—ちなみに、息抜きに来る「先生」もいませんか。

五十嵐：いらっしゃいますね。秘密ですけど。

消えたコロッケパン

—ところで、人気メニューだったコロッケパンは今でもありますか。楽しみにしてきたのですが。

五十嵐：ごめんなさい。実はもうないのです。市内のパン屋さんから仕入れていたのですが、作るのをやめてしまったということです。

—ということは、もしかして野菜パンも…。

五十嵐：ありませんね。

森田：コロッケパンや野菜パンがなくなってしまったのは、製造元の都合だけではありません。一番大きな理由は、やはり生徒さんの好みが変わってきたということだと思います。ベーコンや目玉焼き、唐揚げなどがのっているパンの方が出るようになっていましたから。

五十嵐：最近はコンビニエンスストアなど食べ物を買う場所も増えましたし、生徒さんにとっては便利になっていると思います。購買部には電子レンジがあるので、お弁当を温めに来る生徒さんも多いです。

森田：それから、購買部でも2年前からお弁当を置き始めました。ボリュームがあって好評です。

—最後に、このインタビューを読んでいる皆さんに一言お願いします。

五十嵐：もし機会があれば、是非購買部に遊びに来て欲しいですね。かつての生徒さんが、先生で戻ってきたりするだけでも嬉しいものです。

森田：生徒さん1人ひとりの名前は知らなくても、顔は結構覚えているものです。社会に出ればもちろんいろいろあるわけですが、この学校から巣立っていった皆さんが、何はともあれ無事で頑張っているのがわかるだけで、とても安心します。

歴史研究にルーツを探して

水戸市 野澤 汎氏
(昭20卒)



明治20年に祖父が始めた印刷業を父から継いで50有余年。引退を機に本格的に始めたのが「水戸の歴史」研究だった。

曾祖父の野澤三郎衛門が諸生派狩りの中で死罪に処せられたことを父から聞かされ、「なぜ水戸藩では天狗・諸生の悲惨な戦いが起きてしまったのか」と常に疑問として持っていた。

たまたま参加した古文書講座で、水戸史資料の中に曾祖父の記

録を具に見たことが水戸史研究のきっかけだった。一念発起して史料解説に没頭し、遂に「後裔が見た水戸藩騒動の事実」を上梓した。歴史への関心は、幕末からさらに遡り、昨年には、「中世常陸大名佐竹氏の歴史」を出版した。

「丹念に史料を読んでいると、ふと、そこには書かれていないことが疑念として浮かんでくる。それを読み解くことが歴史研究の面白さ」と語る。

百まで元気に凧作り

守谷市 榎本 勝男氏
(昭27卒)

「もう14の歳には板場に入って修行に励んでいた。」30年間切り盛りしてきた千波湖畔の割烹を人に貸し、引っ越してきたのが、今TXで賑わう守谷市。若い頃から作ってきた「凧」、特に喧嘩凧として有名な東三河の「田原凧」に魅せられ、できるだけ田原市に近

いところとして守谷を選んだ。

凧工房を持ち、凧三昧の生活を送っているが、凧の魅力は？「全国にさまざまな凧の文化があり、作っていて楽しい。闘って楽しい。」

日本の凧の会のメンバーとして各地のイベントに参加する傍ら、公民館では子ども達に凧の魅力を教え、さらに、料理のプロとして「親父料理講座」を開講。リタイアした親父達に料理の魅力を伝えて人気の講座となっている。

「身体は元気。百まで生きて、喧嘩凧で優勝するのが夢」と語る榎本さんは、今、130周年記念事業に向けて、130枚の連凧を構想中だ。



新刊紹介

知道会事務局に寄せられた本校出身者・関係者の著作を紹介します。

持続可能なISOへ

中央公論事業出版
1,905円(税別)
西川新八郎 著
(昭32卒)



建築設計と品質ISO審査に活躍してきた著者が、ISOの理念と認証取得の現場との乖離の現実に警鐘を鳴らす。耐震偽装や談合が社会問題化する中で、認証継続のみに奔走し、ISOの目指す組織の継続的發展など二次という企業、その企業の思惑に追従する審査機関の現状を単刀直入に指摘し、経営や組織管理にいかんISOを活かしていくかを提案する。

詩のある風景 —館英雄画文集—

講談社出版
サービスセンター
3,715円(税別)
館 英雄 著
(昭29卒)



同窓「館 英雄」君とは、高校3年間話したこともなく名前すら知らなかった。今は亡き元大洗町長「竹内 宏」君の励ます会で知り合い、その席上、「老後は絵を描いて生活する」と定年10年も前に聞かされ驚いたことがある。70過ぎて画文集を自費出版するエネルギーには敬服するほかない。二九会で一番輝いている男です。

(推薦者：八木沢正義)

精神科医の 雑学読書

あき書房
2,200円(税別)
風祭 元 著
(昭27卒)



専門誌「最新精神医学」に連載した「精神科医の読書ノート」に加筆修正してまとめた一冊。都立松沢病院院長を勤めた著者が、精神医学研究の中で出会い、多くの示唆を受けたさまざまなジャンルの著作から、作品中の主人公の犯罪心理や人格障害など分かりやすく解説している。

硬式野球部後援会 (三の丸倶楽部) 発足

硬式野球部は昭和29年を最後に54年間甲子園から遠ざかっているが、昨年は夏ベスト16、秋ベスト8と着実に力を付け、今春の選抜大会の21世紀枠に県高野連から推薦されるまでに復調した。また、学校創立130周年記念行事の一環として、6月29日(日)には硬式野球部OB会(水府倶楽部)が主催する招待試合が慶応高校、早稲田実業を招いて水戸市民球場で行われる予定である。

これらを契機に、熱心な知道会会員、水府倶楽部会員及びその父母など5人を世話人とする後援会(三の丸倶楽部)が発足した。

この会には、水府倶楽部及び現野球部員父母会の会員以外なら知道会会員はもちろん誰でも入会できる。

入会(年会費一口3,000円)はメール(ihm2158@ak.wakwak.com)またはFAX/TEL(0294-53-1351)で世話人代表である森 利克氏(昭38卒)へ。

東京知道会総会・同窓会 「同窓の集い」

東京知道会では、去る2月23日(土)、東京大手町サンケイプラザ大ホールにて、総会及び同窓の集いを開催した。冒頭挨拶に立った西野虎之介知道会会長は、母校創立130年記念事業にかかる資金確保を強く要請した。

続いて五味田校長は、在校生の学力向上と授業の効率化を目的に、来年度より授業内容を大幅に改革することを説明した。また、部活動において目覚ましい成果を挙げたクラブを紹介すると、会場から拍手が巻き起こった。

引き続き行われた記念講演では、日本銀行金融研究所勤務の傍ら都市交通(特にLRT)に関して研究をしている宇都宮浄人さん(昭54卒)にお話をいただき、建設費用と維持費用に関する地方

都市交通の基本的考え方、昭和39年頃まで水戸市内を走っていた「水浜電車」が復活する可能性などを、熱のこもった語り口で講演いただいた。

水戸一高四三会 40周年同窓会

1月3日(休)午後3時より、水戸駅前にある三の丸ホテルで、会員105名が出席し、盛大に開催された。恩師は、川上不二夫先生、高橋徳正先生、小林喜久夫先生、鶴巻勝夫先生のご臨席をいただき、知道会からは、沼尻滋副会長、北條勝彦事務局長をお迎えした。

同窓会は、茨城交響楽団副団長の林明君(33組)の『コンサート&トーク：私の音楽人生』で始まった。林君の主宰するズブロッカ弦楽四重奏団がポピュラー音楽からクラシックまで選び抜いた名曲を演奏し、その合間に林君が「私の音楽人生」を楽しく語ってくれた。なお、ズブロッカ弦楽四重奏団のチェリストは、水戸一高現教頭の川又輝美先生であったことを記しておきたい。

4時過ぎからは、式典および懇親会に移り、大いに盛り上がった。更に、多くの会員が2次会にも参加し、9時過ぎまで旧交を温めたクラスもあったと聞いている。

(校内幹事 石橋英喜)



62年卒同窓会に “62名”が参加!

卒業してから21年目を迎える本年正月2日(水)、ホテルレイクビュー水戸において、昭和62年卒業生初の同窓会が開催されました。当日は卒業時の学年主任であ

られた秋山巨先生をはじめとして恩師の7名の先生方と知道会副幹事長の栗原英則様のご臨席をいただき、同窓生62名の出席のもと和やかな雰囲気の中、時間の経つのも忘れて、思い出話に花を咲かせたり近況を報告しあったりしながら楽しい時間を過ごしました。予定された時間もあっという間に過ぎ、名残惜しいことではありましたが、元応援団長の小島謙一君の指揮により校歌を斉唱し、再開を誓って散会いたしました。

(小林記)

水戸下市知道会

3月23日(日)水戸下市知道会の総会が、地区の割烹「魚兼」で開催された。

1部の総会は全ての議案が原案通り承認され、役員改選では現執行部が再選され、湊会長以下全員の続投が決定された。

2部の講演会は34年卒の但野正弘氏を迎え「今、問われる大人の徳育」—水戸光園公の教えに学ぶ—と題して深い人間洞察と庶民への愛情に満ちた黄門様の言葉をさまざまなエピソードとともに語られた。聴衆皆深い感銘を受けた。

3部の懇親会では、和室で車座になり出席者一同心を一つにして美酒に酔いしれた。



日立知道会

平成19年10月27日(土)、日立市内(株)ホテル天地閣において会員45名と西野知道会会長、北條事務局長に出席していただき、総会と懇親の集いを行いました。スムーズな進行で総会が終了し、懇親の集いではH響による弦楽四重奏・大ビンゴ大会で盛り上がり、

近況の話題に各テーブルで話の華が咲き、盛況の裡に沼尻滋氏（昭27卒）の中締めで終了いたしました。来年度の出席を約束し、各自二次会へと散会しました。

（昭44卒 戸祭 宣光）

三四（さんし）同窓会

3月4日（火）午後1時に水戸駅南口に集合した同窓生14名は、但野正弘君の案内で『水戸史跡案内Ⅱ』へ出発した。2回目の企画で「笠原水道と浴徳泉碑」「別春館」「吉田神社」「備前堀」「酒門共有墓地」を巡った。水戸に住んでいてもゆっくり散策する事はあまりなく、大変有意義であった。

午後5時に30余名が合流し、京成ホテル14階展望ラウンジにて同窓会の開始。今回は、西野虎之介会長・北條事務局長をお招きし、創立130周年募金として、三四会より34万円を湊正雄代表幹事より贈呈した。来年は卒業50周年記念同窓会を実施する予定である。（文責・石原道明）

知道会褒賞受賞者48名

3年間の学校生活の中で文武両道に励み、部活動等で県の代表として県外大会等に出場し、本校の名声を高めた生徒に対する知道会褒賞授与式が平成20年3月1日、卒業式の後に行われた。西野知道会会長から一人ひとり褒賞と記念品が手渡された。所属部別の受賞者は次の通り。

- 【家庭科】 下条智美, 吉田亜有美, 栗原千絵
- 【棋道部】 池島純
- 【弓道部】 後藤裕, 大森園子, 鬼澤英里, 熊木仁美
- 【山岳部】 丹波高裕, 肥高直之
- 【写真部】 高野英江, 鈴木祥絵
- 【吹奏楽部】 山崎浩宣, 坏千尋, 祝迫ひとみ, 町谷香織, 村上沙織, 加藤克洋, 楠見美奈, 鈴木秀平, 萩原明日美, 平山万里, 赤岩美希, 赤津詩織, 森田結香, 青木美智子, 大田和愛美, 小泉未知, 須藤明日香, 菱川文子, 札沙織, 大川ひとみ（図書部兼）
- 【卓球部】 杉朋幸, 露崎貴宏, 渡邊陽介, 幕田裕貴, 柏達己
- 【図書部】 土井奈津美
- 【放送委員会】 矢野進也, 萩谷至史, 青山侑矢, 中根理沙, 井澤桃子
- 【陸上競技部】 小田倉香織, 大申顕史, 川又結花, 仲田光穂, 石島春花



授賞式の様子

平成20年度定期人事異動

次の方々が異動された。

※（ ）内は教科等と本校在職年数

1 退職

- 菊池 誠（地歴公民, 1年）
- 海老澤伸子（技術, 32年）

2 転出

- 稲田 敬一（地歴公民, 10年）
日立北高へ
- 高村 祐一（英語, 7年） 高校教育課へ
- 飛田 隆（体育, 6年） 勝田工業高へ
- 大和田美香子（実習講師, 10年）
水戸農業高へ
- 雨谷 涼子（図書, 7年） 緑岡高へ

3 転入

- 吉富 忠宏（地歴公民） 那珂湊一高から
- 久保 佳彦（体育） 太子清流高から
- 小林 大亮（英語） 新規採用
- 園部 美紀（事務） 水戸養護学校から
- 伊澤 慶祐（英語） 講師
- 佐々木悦子（実習助手） 山方商高から
- 石井久美子（技術） 臨時

入試結果と進路状況

平成20年度の大学入試において、324名の卒業生のうち、国公立大学に120名、私立大学に延べ437名が合格し、現役生の実合格率は71.6%と高くなった。また、実際に進学した生徒は209名で実進学率は64.5%であり、現役志向はかなり高いと言える。国公立大学の現役合格数は昨年の142名より減少したが、ここ10年間のほぼ平均の合格者数である。既卒生の国公立大の合格者数は50名であり、昨年とほぼ同じであった。また、私立大学では現役生は早稲田・慶應を中心にほとんどの大学で昨年度を大きく上回り、特に早稲田の現役合格者数は過去最高となった。今年の卒業生は国公立の減少分、早稲田・慶應の難関私大への志向が強かった、と言えるだろう。

今年度の主な大学の合格者数を記す（左表参照）。（ ）内は現役合格者数、前年との増減は△▼で示した。

（教頭 小田倉 昭43卒）

平成20年度大学入試合格者数

【国立大学】

北海道大	1 (0) ▼ 8
東北大	32 (25) ▼ 7
茨城大	8 (7) ▼ 3
筑波大	30 (24) △ 9
千葉大	13 (9) △ 1
お茶の水女子大	6 (5) △ 4
東京大	10 (8) ▼ 6
東京外語大	6 (6) 0
東京工業大	7 (1) △ 3
一橋大	5 (1) △ 3
京都大	4 (1) ▼ 2
大阪大	4 (4) △ 2
神戸大	3 (3) △ 2

【私立大学】

青山学院大	36 (17) ▼ 2
慶應義塾大	53 (28) △ 14
上智大	9 (5) ▼ 4
中央大	59 (24) 0
東京理科大	77 (44) △ 2
法政大	23 (15) ▼ 13
明治大	96 (51) △ 12
立教大	58 (37) △ 11
早稲田大	97 (60) △ 22

総務委員会

創立130周年記念祝賀会（平成20年度「会員の集い」）に向けて、第1回実行委員会を3月14日に開催致しました。総務委員、130周年記念事業実行委員、担当学年（52年・62年・H9年）及び栗原副幹事長、北條事務局長の17名が出席し、担当の確認、祝賀会を盛り上げる為の方策等、活発な意見交換をしました。祝賀会には、たくさんの会員の皆様のご参加をお待ち致しております。

さて、今年は、創立130周年になる節目の年です。知道会の活動にとっても、今まで以上に活発な活動ができるよう、考えを新たに作る年でもあります。会員の皆様が、いろいろな形で知道会の活動に関わり、そこからまた新しい知道会の輪が広がる。そのような知道会になるよう、いろいろなアイデアを出していきたいと総務委員会では考えております。私見ですが、活動の記録をいろいろな形で残していく。（写真やビデオ映像そして記録文章で）これを、今までの各委員会の枠にとらわれず、サポーターとなって記録活動に参加していただく。そういうことを企画してみてもどうかと思っています。いろいろな考えがあると思いますので、ぜひ、会員の皆様のご意見を総務委員会までお寄せ下さい。（昭42卒 粉川勝）

財務委員会

過去5年間のデータによると知道会年会費の納入率は昭和25年以前卒46%、26～30年卒44%、31～40年卒38%、41～50年

卒25%…H6～10年卒15%となっており、若年層に向かって低くなっています。このような状況となっている年会費の納入率向上策が課題ですが、その一方で、今取り組んでいるテーマが終身会費の納入制度です。

これは、大先輩方から「年会費を支払って行く事に煩わしさがある。」という声もあがっているため、ある基準年齢に達した先輩方には10,000円で終身会費とするというものです。

長寿社会である現在、終身会費制の導入は会費の減収に繋がることでありますが、代議員組織の活用等により若年層へ一層働きかけを行い広範囲に会費の納入率を高めていきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

（根本 祐一）

名簿委員会

「母校創立130周年記念事業に対しての募金協力者名簿を作成することとなりました。

30周年記念事業委員会、広報委員会と協議し、法人・個人別に掲載する予定です。

また、昨年、平成19年度版「知道会会員名簿」を発行いたしました。次回の発行は4年後となりますが、日々のメンテナンスも欠かせません。9割近い判明率を維持する意味合いからも、同窓の諸兄の動静などご存知の方は、知道会事務局まで、ご連絡をお願いいたします。

（打越芳男 昭34卒）

物故者 (H.19. 5.10 ~ 20. 3. 4)

大14	中川 鐵 男	昭13	永山 一 男	昭20	武藤 茂	昭26	大部 泰 寿
大14	小室 長太郎	昭13	(西條)西城 大誓	昭20	(飯塚)永井 弘	昭28	小林 常 樹
大15	武藤 実	昭14	浅川 義 光	昭20	大久保 一	昭28	(吉田)田中 破魔夫
昭4	西村 初 雄	昭14	(根本)平戸 龍	昭20	海子 邦 男	昭28	斎藤 昌 彦
昭5	磯 静 波	昭14	中崎 豊一郎	昭20	桜井 博 章	昭29	玉川 暢 良
昭5	小室 次 男	昭15	石川 勉	昭20	羽方 和 男	昭30	安達 裕 一
昭7	川又 巖 水	昭15	日野 喜 良	昭20	樫村 哲	昭30	国友 貞 夫
昭8	(八木岡)小船 稔	昭15	広木 治 彦	昭20	小菅 昭一郎	昭30	高橋 四 郎
昭8	嶋崎 干 城	昭17	植村 孝 秀	昭20	山口 哲 郎	昭31	石井 精 夫
昭9	(磯上)飯塚 久寿	昭17	川 並 健	昭20	上田 昭	昭31	島田 彰 夫
昭9	齊藤 祐	昭17	品川 昌 美	昭20	神永 道之介	昭32	本多 信 男
昭9	大内 公 一	昭17	山中 常 徳	昭20	廣江 佳 治	昭33	(小林)斧田 登久子
昭9	中島 基	昭17	(中村)大田 正	昭20	丸山 一 祐	昭33	浅川 克 夫
昭9	小口 二 郎	昭18	中村 元 春	昭23	増山 章一郎	昭34	菅谷 浩
昭10	青木 竹 男	昭18	三村 道 行	昭23	井上 正 一	昭34	大津 恵 紀
昭10	森田 孝 良	昭19	栗原 宏	昭23	金田 信 夫	昭35	宮田 洵
昭11	大金 新 一	昭19	高田 義 一	昭23	鈴木 孝 彦	昭35	辛島 功 士
昭12	河井 克 夫	昭19	福地 誠	昭23	梅澤 信 夫	昭36	川井 康 雄
昭12	北村 和 男	昭19	釈 宏	昭24	出沢 幸治郎	昭40	(石井)石塚 邦彦
昭12	志賀 立 佑	昭19	鹿志村 盛	昭24	佐藤 次 男	昭40	沼田 成 夫
昭12	大和 一 郎	昭20	井上 英 鉄	昭25	安藤 勝 美	昭45	沼司 雅 人
昭12	佐久間 三 好	昭20	須田 清	昭25	渡辺 達 郎	昭46	宮田 崇 司
昭13	谷 萩 充	昭20	田崎 久 雄	昭25	大内 孝 也	昭47	郡司 圭 二
昭13	中河 洋	昭20	渡辺 昌 吾	昭25	海老根 進	昭51	(佐藤)ディレイ知香子
昭13	坪内 正 勝	昭20	荒木田 泰 通	昭26	田山 晃	平11	狩野 哲 朗
						旧職員	森山 繁 子

【 事務局だより 】

事務局の開設時間が限られているため、会員の皆様にはご不便をお掛けします。FAXは24時間・365日、常時通信可能な状態にしています。是非、ご活用下さい。

事務局FAX：029-226-4157（ご氏名・卒年・ご連絡先はお忘れなく）